

# 平成30年度 当新ブロックの研究

## 研究主題

健康について考え、心豊かに自分らしく生きる子どもの育成をめざして  
～子どもによりそった養護教諭の執務のあり方～

## 主題設定の理由

子どもたちをとりまく環境は複雑になり、健康課題も多様化している。私たちはそのような環境の中でも子どもたちが自ら健康について考え、自分らしく生きていくことができるように様々な場面で取り組んできたが、養護教諭は多くが1校1名で、時に多面的な物事の見方ができなかつたり、一人で悩みを抱えたりする。また、健康診断が行われる多忙期には、改善の余地を感じていながらも、執務に追われ十分に具体的な検討ができない場合もある。

そういった実態から一昨年は健康診断について、昨年は事前事後も含めて救急処置の際に私たちが効果的に執務を進める上でのあり方を探った。

今年度は日常実践交流のなかでも度々問題点としてあがったアレルギー対応に特化する。学校において食物アレルギーのある児童生徒への対応を行うためには、全教職員が食物アレルギーやアナフィラキシーショックについて正しい知識を持つ必要があり、養護教諭は家庭や関係機関と連携し実態把握・情報の共有に努め、他の教職員に食物アレルギーについての知識や対応について周知を図る役割を担わなければならない。そのために対応の在り方や問題点を整理し、子どもが自ら考え行動していけるためには、どのような支援ができるか研究を深めたいと考え、この主題を設定した。

## 研究の仮説

1. アレルギーのある子どもの現状と課題を交流することにより、学校での体制や支援の在り方を明らかにする。
2. アレルギーに対する理解を深めることは、健康について考え、自分らしくすこやかに生きる子どもの育成につながる。

## 研究内容

1年次の内容（今年度）

- ・各校のアレルギー把握の仕方、救急体制、事例検討など実践交流
- ・食物アレルギーに関する校内研修の定期的な実施、生徒や家庭への文書・保健指導、情報発信の行い方について検討。

2年次の内容（来年度）

- ・1年次の内容を深め、各校でい具体的な取り組みについて実践交流。

## 研究方法

1. 全体で交流
2. 理論、実技研のいずれか行う。